

春 夏 秋 冬



編集

道立羽幌病院
サービス向上委員会
院外報部門
第 63 号

落ち葉が風に舞い、吹く風の冷たさが身にしみる季節となりました。例年、この時期になると風邪などの感染症が流行します。今回は、高齢者を対象とした定期接種が実施されている、肺炎球菌ワクチンについて、お話します。

「肺炎球菌とは」

肺炎球菌は主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液などを通じて飛沫感染し、気管支炎や肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。

肺炎はわが国の死亡原因の第5位となっています。また、日常的に生じる成人の肺炎のうち、1／4～1／3は肺炎球菌が原因と考えられています。

「肺炎球菌ワクチンとは」

肺炎球菌には90種類以上の血清型があり、定期接種で使用される「23価肺炎球菌ワクチン（一般名：23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン、商品名：ニューモバックスNP）」は、そのうちの23種類の血清型を予防の対象としたワクチンです。この23種類の血清型は、成人侵襲性肺炎球菌感染症の原因の約6～7割を占めるという研究結果があります。

「当院での肺炎球菌ワクチンの接種について」

去年は、需要が高まり供給が追いつかず、ご迷惑をおかけしました。

今年は昨年よりワクチンの確保ができていますので、ご希望の方は医師にご相談ください。

「肺炎球菌ワクチン接種後には副反応が生じることがあります。」

肺炎球菌ワクチンの接種後にみられる主な副反応には、接種部位の症状（痛み、赤み、腫れなど）、筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などがあります。

接種後に苦痛となる症状や体調の変化が現れたら、すぐに医師にご相談ください。



参考：厚生労働省 公益財団法人予防接種リサーチセンター

「インフルエンザワクチンについて」

ワクチンは、ウイルスや細菌などを実際に培養して生産され、多くの人が接種することから多くの生産本数が必要となり、一般の医療品に比べて、生産に多くの時間を要します。2021年はワクチンの製造株の増殖性などの影響などから、供給量の多かった昨年より少なくなっています。また、供給時期も遅れめになっています。

参考：厚生労働省

「当院でのインフルエンザの予防接種状況です」

○小児科患者さま

受付は、終了しました。

○一般患者さま

現在、受付はしていません（ワクチンの供給次第で、受付を開始する場合があります。）

○65歳以上の患者さま

現在、受付はしていません。各自治体での接種をお願いします。

（ワクチンの供給次第で、受付を開始する場合があります。）



発熱時の受診について

新型コロナウイルスは非常に感染力が強く、ワクチン接種をしていても感染してしまうことが報告されています。自分が無症状でも感染している可能性があり、わからないうちに他人を感染させることもあります。そのためマスク、手洗いなど日頃から行っている対策を続ける事が大切です。しかし、対策をしていても感染を「0」にすることは難しいことです。また、症状が出現した場合、他の病気の可能性もあります。発熱、倦怠感、喉の痛みなど風邪の症状が出現した場合は、悩んだり、無理をせず発熱外来を受診してください。

発熱外来を受診する際は、必ず受診前に電話連絡をお願いします。

一般の診察室に入らず別の時間を設けて、専用の診察室での対応となります。
電話：0164-62-6060（代表）



病棟では、患者さまとご家族の方が少しでも顔を見てお話ができるよう、オンライン面会を行っています。オンライン面会の感想として、「家族の顔をみられて元気が出た」「状態が分かって安心した」「難しいと思ったが、やってみて良かった」など温かいお言葉をいただいています。今後も、感染対策を考慮したオンライン面会が継続されることが予測されます。再度、オンライン面会の申し込み方法を記載させていただきます。



【実施日】 平日の日中指定した時間になります。

【申込み】 当院地域連携室に、ご連絡をお願いします。 電話0164-62-6060(代表)

(対応できる件数に限りがあるため、すべての希望に添えないことがあります)

【方 法】①ご家族のスマートフォンやiPad、パソコンなどに「Zoom」をインストールしていただきます。

②ご家族のメールアドレスに、当院からアドレスまたは、ID、パスワードをお送りします。

③予約時間にお送りした、指定のアドレスをクリックするまたは、ID、パスワードを入力し、ご参加をお願いします。

地域連携室からお知らせ

地域連携室では患者相談窓口を開設しております。いろいろな相談ごとの窓口となり、内容によっては他部署と連携し対応させていただきます。また、レスパイト入院・フレイル外来の窓口にもなっています。お気軽にご相談ください。

電話 0164-62-6060(代表)

患者－医療者パートナーシップ宣言

当院では患者－医療者パートナーシップ宣言の強化に努めます

- 医療の主役は患者さまです。
- 私たち医療者は、患者様の病気の診断・検査・治療計画について十分な説明をします。
- その上で納得して医療を受けられるように支援いたします。
- わからないことは何でも、お気軽に相談してください。